

日本経済に新しいチカラを
In Partnership with Management



2021
NSSK
ESG Report

2021 NSSK ESG Report

INDEX

03 NSSKのESGコミットメント

- 05 CEOメッセージ
- 07 NSSKのESGアプローチ
- 11 ESG方針と実践

13 NSSKのESGへの取り組み

- 15 NSSKによるファンドの組成
- 17 地域・インパクトファンドの取り組み
- 19 CASE STUDY 1 ヴァティール
- 20 CASE STUDY 2 丹羽久
- 21 CASE STUDY 3 EdulinX
- 22 CASE STUDY 4 ホテルキャッスルイングループ

23 NSSKにおけるESGと価値創造の相関関係

- 25 地域社会への投資
- 27 従業員満足の実現
- 29 NSSKのESG推進組織
- 31 ダイバーシティ&インクルージョン

34 会社概要



PEI Private Equity Firm of the Year in Japan 2020 受賞

日本産業推進機構は、Private Equity International (PEI) 社主催の2020年Firm of the Year in Japanに選出されました。PEIは「同業他社や業界関係者の視点からその年ベンチマークになるようなファーム」を本アワードで選出しています。2017年、2018年の2年連続受賞および2019年、2020年のオペレーショナルエクセレンスアワードに加え、今回も受賞の栄誉にあずかりました。NSSKは、今後も財務および非財務（ESG指標）の優れた成果を提供をできるよう、さらに努力を続けてまいります。

Thank You!

With much appreciation to all of our Partners,
Friends, Families and Supporters.



ビジョンを共有し、共に歩んできたSamに捧げる



NSSKのESGコミットメント

- 05 CEOメッセージ
- 07 NSSKのESGアプローチ
- 11 ESG方針と実践



代表取締役社長
津坂 純

パフォーマンスの向上とESGへの貢献の両立を目指して

日本産業推進機構 (NSSK) は、「誇れる結果を生み出す No.1の投資運営会社を築きあげ、日本ひいては世界の環境・社会・企業統治に貢献する」ことをミッションに掲げて立ち上がった企業です。当初からESGを念頭に置いた投資活動に努めており、現在、世界的にもトップクラスの業績を上げるとともに、社内外でESGの原則を実践する取り組みも大きく前進しています。本報告書では、経営陣と従業員のパートナーが率いるNSSKチームが一丸となって達成したさまざまな活動、成果の一部をご紹介します。

投資先企業におけるESG関連の主な成果 (2020年2月時点のFund IIの投資先企業)

- 求人数：12%増加
- CEO/COOのうち40%が女性またはマイノリティ
- 5,000人超の全従業員のうち78%が女性
- 管理職の49%が女性

⇒ 詳細はP.31～P.33をご覧ください

ダイバーシティ&インクルージョンを特に重視した投資活動を展開

NSSKでは、ESGのなかでも特にダイバーシティ&インクルージョンに重点を置いて投資活動を行っています。ご存知のように、日本はほとんどのジェンダーギャップ指標においてあまり良い結果を出せていません。たとえば、世界経済フォーラムが発表した男女間の経済、教育、健康、政治における格差を示す最新データによると、日本は120位にランクされています。このジェンダーギャップを縮めることが日本の重要な課題だと捉え、NSSKでは事業を通してダイバーシティ&インクルージョンに力を注いでいます。

その成果はすでに表れ、ダイバーシティ&インクルージョンの充実とファンドのパフォーマンス向上が相関関係にあることも明らかになりつつあり*、大いに手応えを感じています。

※背景は以下の記事をご覧ください
www.nssk-japan.com

ESG委員会の充実を図りCPOやESG監査担当者も設置

責任投資を実践するための強固な体制も構築しています。NSSKのESG委員会は、組織のおよそ4分の1を占める全部門のメンバーで構成されており、各メンバーはESGに関するパフォーマンスの説明責任を負っています。私たちは、キャシー松井氏のような男女共同参画の先駆者たちから、行動はトップから始めなければならないことを学びました*。私はNSSKのCEOとして、常に誇りを持ってESG委員会を率いる重責を背負っています。

さらに、ESG推進のための重要なポジションであるチーフコーポレートフィロソフィーオフィサー (CPO) を設置し (CPOの役割と貢献については28ページをご覧ください)、また、元ファイザー日本法人のCFOなどを務めた経験豊富な人材を、専任のESGおよびコンプライアンス監査担当者に任命しました。

※キャシー松井氏 (著)
「ゴールドマン・サックス流女性社員の育て方、教えます」

地域・インパクトファンドを起ち上げて地域社会に貢献

NSSKは独自のインパクトファンドを通して、地域社会への貢献を果たしています。私たちは業界でいち早く、自社のプラットフォームを活用した地域・インパクトファンドの組成に成功しました (15ページを参照)。2017年に立ち上げた中部・北陸地域活性化投資事業有限責任組合は、この地域の8つの県に焦点を当てた社会的インパクトの創出に特化しており、雇用の増加、ジェンダー・ダイバーシティの向上、地域社会への貢献などをもたらす投資戦略を実行しています。

2021年には、こうしたESGへの取り組みを日本全国で展開するために、新たに4つの地域・インパクトファンドを立ち上げます。これは、政府、地方自治体、地域金融機関、そしてあらゆるステークホルダーの皆さまのご支援の賜物です。

日々の揺るぎないコミットメントでより大きな目標を達成していく

私たちのチャレンジはスタートしたばかりです。いまやESGやSDGsという概念は一般的になりましたが、かつては考えられなかったことです。私の甥が2015年に国連大学でサステナビリティの修士号を取得した時は、それが何であるかを尋ねる人のほうが多かったのです。今日では、ESGやSDGsへの取り組みの重要性を誰もが認識しています。私たちがこれらの目標を達成するためには、私たち自身の手でさらに良いプロセスを編み出していかなければなりません。より大きな目標を掲げなければ、より大きな成果は得られない。そしてその成果は、日々の揺るぎないコミットメントによってもたらされるものです。困難な取り組みですが、それを成し遂げてこそ私たちの存在意義があると思っています。

いま、日本および世界中の人々が新型コロナウィルスとの戦いを続けています。私たちは希望を持ち続け、パートナーの方々と力を合わせてコロナ禍を乗り越え、自らの使命を果たしていきたいと考えています。

NSSKのミッション

私たちの“使命”は誇れる結果を生み出す
No.1の投資運営会社を築きあげ
日本ひいては世界の環境・社会・企業統治に
貢献すること

環境・社会・ガバナンス (ESG) に関する基本方針

私共は、環境・社会・ガバナンス (ESG) に関する基本方針を実践することが社会的責任に応えるものであり、また、投資ポートフォリオからのリターンの向上をも可能にするものと考えます。私共は、創立以来、以下の方針を基盤として投資に関する活動を行っております。

1. ある特定の企業に投資を行う際には、私共が当該企業を保有する期間のみならず、投資自体の可否を検討する過程においても、当該企業に関するESGの問題を考慮します。
2. 必要に応じて、直接的にまたはポートフォリオ企業の代表者等を通じて、利害関係者の考えを汲むようにします。
3. 長期的な持続可能性を旨とし、投資を行った企業の成長と改善に努めます。取締役の派遣やその他のガバナンス上の手段を通じ、ポートフォリオ企業と共にESG分野でのパフォーマンスの向上及び悪影響を最小限に留めるための努力を行います。
4. 監査、リスク管理、潜在的な利益相反の分野においてふさわしい水準の監督を行い、さらに所有者と経営者の利害の一致を図る施策の実施に努めます。
5. 私共は、賃金、職場での安全、雇用機会の均等、団結権、団体交渉権その他のすべての面で投資対象国における労働法を遵守します。
6. 商業的な有利性を確保するための賄賂及びその他の不適切な支払いを禁止する厳格な方針を貫きます。
7. 私共の投資活動によって影響を受ける人々の人権を尊重し、私共の資金が児童労働や強制労働、差別的政策を行う企業に流れていないことを確認するよう努めます。
8. ESGに関連する事項に関して投資者にタイムリーな情報提供を行います。
9. ポートフォリオ企業からのESGに関する開示を求め、ポートフォリオ企業や業務提供者が本基本方針に沿った方針を押し進めるよう推奨します。

責任投資原則 (PRI) への署名

日本産業推進機構株式会社は環境 (Environment)、社会 (Social)、企業統治 (Governance) の3分野 (総称して「ESG」) における課題に配慮した責任投資へのコミットメントを表明するため、国連が支援する責任投資原則 (United Nations-supported Principles for Responsible Investment [PRI]) に署名しております。

Signatory of :



(出典: <https://www.unpri.org/pri>)

インパクト投資の運用原則への署名

日本産業推進機構株式会社は、国際金融公社 (International Finance Corporation、以下IFC*) が主体的に策定しているインパクト投資におけるグローバルな市場基準である「インパクト投資の運用原則 (Operating Principles for Impact Management) (以下本原則)」に署名しております。



※IFC: 世界銀行グループの機関。1956年設立。途上国の民間セクター開発に特化した世界最大規模の国際金融機関。世界約100カ国の民間企業との協力を通じて、極度の貧困を撲滅し、繁栄の共有を促進するための支援を実施しています。

ESG 構成要素

NSSKは、ESGに関して「均等な機会の提供」「多様性」「雇用創出」「最善のガバナンス」「健康と福祉」「環境」を重要な要素として認識し、責任ある投資活動を遂行しています。



- ESGを前面に押し出した投資活動の実践
- ESG戦略に基づいたポートフォリオ構築の推進
- 責任ある投資の推進
- チーフコーポレートフィロソフィーオフィサーを中心とした研修の導入 (NPPプログラム)

Software (ソフトウェア) や
Hardware (ハードウェア) だけでなく、
“Heartware” (ハートウェア) をビジネスに注入することが
成功の鍵であると考えています。
それは人材への投資です。



代表取締役社長
津坂 純

日本経済を取り巻く環境とNSSKの意義

中小企業においては、事業承継や人材不足、市場環境変化への対応など経営者を悩ませる課題が多数存在しています。また、経済の関東一極集中のなかで、日本全体の経済活性化の必要性がより高まると同時に、事業の国際化、デジタル化の流れを受けて、従来の産業構造の見直しも迫られています。こうした重大な課題の解決に貢献するべく、NSSKはグローバル・エクセレント・カンパニーにて培った知見やノウハウを活用し、潜在力の高い日本の魅力的な企業を対象に、ESGを重視して企業・株主価値の向上はもとより、日本ひいては世界経済の発展に資する投資と経営支援を実行しています。ESGはNSSKの事業活動の中核的要素であり、NSSKの投資プロセスの基礎となるものであり、リターンの向上につながっています。

事業活動

	概要	ESGの取り組み
ファンドレイジング	<ul style="list-style-type: none"> ● 政府系機関、海外大手年金基金、大手金融機関、地方銀行等から調達した資金によるファンド組成 	<ul style="list-style-type: none"> ● ESGに関する主要な取り組みと行動指針について説明 ● 会合への参加によるESG原則の積極的な推進
投資前	<ul style="list-style-type: none"> ● 潜在力の高い日本の魅力的な企業を対象に、日本の地域経済の発展に資する投資と具体的な経営支援の実行 	<ul style="list-style-type: none"> ● Third Partyを含むESGデューデリジェンスの実施 ● ESG課題の評価 ● 投資委員会での検討 ● リスクと改善策の特定
投資後	<ul style="list-style-type: none"> ● 独自の業務改善ノウハウ(NSSKバリューアップ・プログラム=NVP)による業務改善支援 ● 配当、株式公開、戦略的投資家等への株式譲渡等による投資回収 	<ul style="list-style-type: none"> ● ESGフレームワークの導入 ● 各投資先においてKPIの設定 ● 継続的なモニタリング ● 成果の測定と評価 ● 四半期毎のレポート ● コンプライアンス・ESG監査役による監査の実施

NSSKバリューアップ・プログラム

NVP



NSSKの経営支援アプローチ

NSSKでは、投資先企業に向けて独自の経営支援パッケージであるNVP(NSSKバリューアップ・プログラム)を提供しています。NVPは、エクセレント・カンパニーが実践し、業務改善、人材教育、財務効率の改善などのノウハウを、国内企業の実態を踏まえて体系化したものであり、高度な専門人材によって構成されるNVP実行支援チームによって展開されています。さらに、グローバルな競争力を有する日本企業を一社でも多く支援・創出するべく、北米・欧州・アジアなどに張り巡らせたネットワークと国際的な経営経験を持つ有識者の経営指導を活用する機会を提供し、投資先企業の経営基盤強化を図っています。



NSSKのESGへの取り組み

- 15 NSSKによるファンドの組成
- 17 地域・インパクトファンドの取り組み
- 19 CASE STUDY 1 ヴァティー
- 20 CASE STUDY 2 丹羽久
- 21 CASE STUDY 3 EdulinX
- 22 CASE STUDY 4 ホテルキャッスルイングループ

NSSKによるファンドの組成

潜在力の高い企業への投資と経営支援を通じて、日本の地域経済の発展に貢献します。

日本産業推進機構1号

日本産業推進機構1号投資事業有限責任組合は、2015年に設立されました。本組合は、出資先企業と長期的な出資関係を維持することを目的として設立されております。これにより、日本産業推進機構及び投資先企業の経営陣は丸となり持続可能な企業価値の向上を目指しております。当社ではNSSKバリューアップ・プログラムを通じて重要な事業の改善に役立つ施策を講じてきたほか、バランスシート及びコスト構造の最適化、経営手腕のある人材の補強を実施しております。その結果いずれの投資先企業においても業績は順調に拡大し、従業員数も増加しております。

日本産業推進機構2号およびその後継ファンド

日本産業推進機構2号投資事業有限責任組合は、2016年に設立されました。日本産業推進機構2号投資事業有限責任組合では、日本国内に本店を有する法人その他の事業主体等のうち、特に潜在力の高い日本の魅力的な企業であり、ハンズオン経営支援を実行することによる日本の地域経済の発展に資する投資と見込まれる案件を中心として投資を実施しております。優れた会社に投資をし、さらにその会社を偉大な会社に転換させるために、当社では他社と差別化したソーシングを実行し、統一されたプライシング方法を採用し、またNSSKバリューアップ・プログラム (NVP) を導入させることにより、最高の結果を生み出すことを追及しております。

地域・インパクトファンド

NSSKの地域・インパクトファンドは、ESG活動の一環として、NSSKのプラットフォームを国内の地域社会への貢献に資するかたちで提供すべく、中部・北陸地域活性化投資事業有限責任組合を1号インパクトファンドとして、2016年より活動を行っております。事業承継案件を中心に、地方の成長性及び潜在力の高い魅力的な中小企業を主な対象として、必要な成長資金、事業の改善に役立つプロセス、人材の補強と育成、国内外への事業展開のサポート、海外顧客の取り込みのサポートなどを速やかかつ具体的にご提供することで、出資先企業及び地元金融機関とともに企業・株主価値の向上を実現し、雇用機会の創出を含めて地域経済・社会の発展に寄与することを目的としています。中部・北陸地域から始めたこの活動は、関東・東日本、近畿・西日本など全国に拡大しており、現在、NSSKグループには、5つの地域活性化を目的としたインパクト投資のための組合が設立されております。

日本中の潜在力の高い魅力的な企業の企業・株主価値の向上および雇用機会の創出を支援します。それが私たちNSSKです。



パートナー
石田 昭夫

NSSKのESGへの取り組み

投資先企業

2021年5月31日時点

地図上のポイントは本社・工場のみ記載

■ 拠点展開しているエリア



投資先企業の詳細情報は、当社ホームページをご参照ください。
<https://www.nssk-japan.com/portfolio/>

地域・インパクトファンドの取り組み

注力すべきSDGsに沿った取り組みを実行し、社会的成果の達成を目指しています。

地域インパクトファンドの概要

地域経済の活性化につながる、潜在力の高い日本の魅力的な企業を対象に、日本の地域経済の発展に資する投資と具体的な経営支援を実行しています。NSSKの地域インパクトファンドは、SDGs（持続可能な開発目標）の17のテーマに沿った取り組みを実行し、出資先企業を通じて社会的成果の実現を目指しています。

インパクト投資と組合を通じた社会的成果

インパクト投資とは

社会的成果

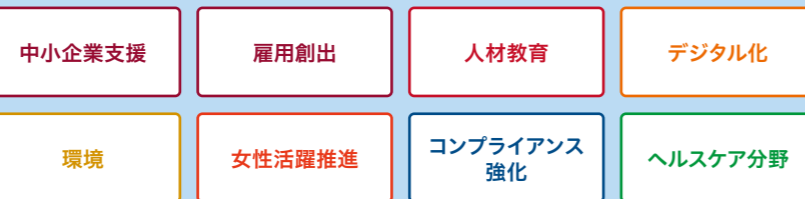
&

財務的リターン

インパクト投資は、財務的リターンと並行して、ポジティブで測定可能な社会的および環境的なインパクトを同時に生み出す投資行動です。NSSKは地域インパクトファンドを通してこれを実践し、社会的価値と経済的価値をともに追求しています。

社会的成果

地域インパクトファンドの運営にあたり、SDGs（持続可能な開発目標）のなかでも以下の8つのテーマを重点目標に設定し、社会的成果の達成に注力しています。



私たちは人々へ雇用と魅力的なキャリアパスを提供したいと考えています。



地域インパクトファンド 社長
松永 安彦

SDGsとインパクト投資

SDGs目標	社会的成果	NSSKの取り組み
8 働きがいも経済成長も	中小企業支援	<ul style="list-style-type: none"> 投資規模10億円未満の中小企業をターゲットとした組合 NSSKのノウハウ・リソース・ネットワーク等を活用し、世界の優良企業が採用し、グローバルにも通用する業務改善ノウハウ（NSSKバリューアップ・プログラム=NVP）を中小企業に対して提供
8 働きがいも経済成長も	雇用創出	<ul style="list-style-type: none"> 従業員数を一つのKPIとして捉え、売上の拡大と共に雇用の創出に注力 人事制度の見直し、業績連動報酬・インセンティブプランの導入等により、働きやすい環境づくり・離職率の抑制を推進
4 質の高い教育をみんなに	人材教育	<ul style="list-style-type: none"> 従業員にとって、働きがいのある仕事環境の構築と、必要な職業教育の提供を支援 <ul style="list-style-type: none"> NSSK Philosophy Program (NPP) (P.27-P.28 参照) 教育・研修制度の体制構築・強化
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	デジタル化	<ul style="list-style-type: none"> 各業界の最先端の技術・ノウハウを把握し、投資先へ適用 <ul style="list-style-type: none"> デジタルマーケティングの強化 データに基づく経営判断の促進（システム/クラウドの導入）
12 つくも責任 つかう責任	環境	<ul style="list-style-type: none"> ESG多様性&インクルージョン委員会を中心に、投資実行前にESG課題の分析を行い、投資後はESG強化の取り組みを支援 <ul style="list-style-type: none"> 食品廃棄量の減少/節電・節水/ペーパーレス化/環境保全を意識した製品作り等
5 ジェンダー平等を實現しよう	女性活躍推進	<ul style="list-style-type: none"> 役職員における女性の活躍推進にも積極的に取り組む <ul style="list-style-type: none"> 働きやすい職場環境づくりの啓蒙活動（ハラスメント防止研修など） 投資先での積極的な女性管理職の登用
16 平和と公正をすべての人に	コンプライアンス強化	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業において不足している、コンプライアンス体制の強化を支援 <ul style="list-style-type: none"> 内部管理等の幹部人材の紹介 会計監査の実施/内部統制強化/労務管理体制の徹底/反社会的勢力の排除体制の構築 ※すべて100%実行済み
3 すべての人に健康と福祉を	ヘルスケア分野	<ul style="list-style-type: none"> ヘルスケア分野を今後の成長事業領域として捉え、投資テーマとして、積極的に投資検討を行う方針 NSSKグループとしてヘルスケア分野で2社投資実行済み

私たちが掲げる重点目標の中でも特に力を入れているのが、投資先企業におけるダイバーシティ（多様性）& インクルージョン（包摂）の拡大です。この取り組みは、優れた投資リターンと相関関係があると考えています。



パートナー
徳山 一晃



株式会社ヴァティー

事業概要

業界屈指の施設数を誇り、地域社会に貢献する介護サービスを広く展開

ヴァティーは2002年に設立された介護事業を営む企業であり、関東・中部地方でサービス付き高齢者住宅、介護付き有料老人ホームおよびデイケアサービスを運営しています。2020年9月現在、施設数では介護業界第9位にランクされています。



施設利用者の立場に立った良質な介護サービスを低料金で提供



ESGの取り組み

- ヴァティーが運営する施設は、高齢者のための地域のインフラとして不可欠な役割を果たしており、また、事業を通して雇用を生み出して地域に貢献しています。
- ヴァティーは、高齢者向けのサービス付き住宅を個人の年金受給額も踏まえ業界最低水準の低価格で提供しており、お客様の経済的な負担を軽減しています。
- 女性を積極的に登用し、重要な役職を任せています。現在、従業員の70%以上が女性であり、管理職の60%以上を女性が占めています。
- コンプライアンス推進室を設置し、定期的に内部監査を行うとともに、全社員を対象としたコンプライアンス教育を実施しています。

女性管理職比率

48% ▶ 65%



株式会社丹羽久

事業概要

130年の歴史を持ち、地球と身体にやさしい日用品を作り続ける企業

丹羽久は1880年に創業し、岐阜県恵那市に本社を置く日用品のメーカーです。主な製品は、天然由来の素材を用いて作られたナチュラル洗浄剤です。さらに、乳酸菌と酵母菌を原料とした自然派消臭剤「ケスコ」や、天然岩塩などの調味料も製造・販売しています。



界面活性剤等の化学物質を含まないナチュラル洗浄剤「スマートクリーナー」シリーズ（上段）と「マスク用のつけ置き除菌洗浄剤」／「水筒・ボトル用のつけ置き除菌洗浄剤」（下段）



ESGの取り組み

- 環境省が策定した環境マネジメントシステム「エコアクション21」の認証取得、および岐阜県が定める食品衛生管理基準を満たしたHACCP導入施設の認定を得ています。あわせて、プラスチックスプーンなどのプラスチック付属品を廃止しています。
- パートタイマーから正社員への登用と週休2日制の導入を図り、社員が働きやすい環境を整えています。

ESGに配慮した製品割合 約60%



株式会社 EdulinX

事業概要

EdTechで人材育成を革新する教育ソリューションを提供

EdulinXは先進的なEdTechを駆使して、あらゆるレベルの人材育成のための包括的な教育ソリューションを提供しています。学習の形を再構築し、パーソナライゼーション、ビデオ・オン・デマンド、ゲーミフィケーション、イメージョン・テクノロジー、そして直感的でインタラクティブな学習体験を通じて、教育の変革を推進しています。



EdulinXの商品・サービスは日本はもちろん、世界1,200以上の企業・教育機関に導入されています。

ESGの取り組み

- EdulinXではさまざまな国籍の従業員が働いており、彼らのニーズに応えるために社内文書を英語と日本語の両方で作成しています。
- 育児中の従業員のためにフレックスタイム制やリモートワークを導入するなど、誰もが存分に能力を発揮できる職場環境を整えています。
- ISO27001の認証を取得し、プライバシーやデータセキュリティに関する社内のガバナンス方針を強化しています。
- 外国人CEOによる経営
- AIを導入して生産性を飛躍的に向上させています。



ホテルキャッスルイングループ

事業概要

三重県の観光・ビジネスニーズに応えるホテルチェーンを展開

ホテルキャッスルイングループは日本有数の観光名所／ビジネス需要が存在する三重県の伊勢・鈴鹿・四日市を拠点とするホテルチェーンです。ホテル利用者をはじめ、取引先、従業員、地域コミュニティとの良好な関係を構築し、ステークホルダーから期待される社会的責任を果たしています。



プラスチック削減のためフロントに設置したアメニティバー（写真左）とエネルギーコスト低減のために導入したLED照明（写真右）

ESGの取り組み

- LED照明の導入やプラスチック削減のためアメニティバーの設置など、事業における環境負荷の低減に努めています。
- 地域に密着した雇用拡大、従業員表彰制度の導入、経営陣と従業員間のコミュニケーションの向上により離職率の低減を達成しています。
- 各種規程の改訂、個人情報の取り扱いに関する方針の策定を実施し、ガバナンスの強化を図っています。
- ホテル利用者に対しては、リニューアル投資、商品プランの充実、旅行予約サイトでの口コミ対応の強化等により顧客満足度アップにつなげています。

離職率の減少率	43%
従業員数 (パート社員含む)	12%増



伊勢の街並みが見渡せる桧風呂（ホテルキャッスルイン伊勢）



NSSKにおけるESGと 価値創造の相関関係

- 25 地域社会への投資
- 27 従業員満足の実現
- 29 NSSKのESG推進組織
- 31 ダイバーシティ&インクルージョン

地域活性化のためのさまざまな活動に取り組み、地域社会との共生を図っています。

NSSKは、地域社会の一員としての責任を果たすべく、地域の活性化につながるさまざまな活動を行っています。以下、その一例をご紹介します。

震災後の東北復興支援

栃木県と岩手県に製造拠点を有し、茎わかめ、梅加工品、干し梅、ドライフルーツ、干し芋などのヘルシーな素材菓子を製造販売する社関では、東日本大震災によって甚大な被害を受けた岩手県大槌町に新工場を設立しました（2016年5月）。また、震災翌年の2012年8月には「復活三陸産茎わかめ」を発売し、売り上げの10%を岩手県のわかめ養殖の復興事業に寄付するなど、地域産業の復興と雇用の創出に貢献しています。



株式会社社関



さまざまな経営支援による地域経済への貢献

三重県の観光名所のひとつである夫婦岩に隣接するサービスエリアで、お土産店・レストラン・水族館の複合レジャー施設を営む伊勢夫婦岩パラダイス。近年、地元商品と「ふれあい」をテーマとする水族館を含む施設のリニューアル、国内旅行の推進を目標に旅行代理店とのリレーションシップの再構築とパッケージツアーの提案による営業強化、旅行者の嗜好に則した施設全体のコンセプトの確立とコンテンツの導入などを進め、地域経済に貢献しています。



株式会社伊勢夫婦岩パラダイス



介護・医療ニーズの高い高齢者のための地域のインフラを強化

Welfare すずらんは、名古屋市を中心に7施設の住宅型有料老人ホーム、3施設の障害者グループホームおよび1施設の認知症グループホームを運営し、低価格で優良な介護サービスを利用者に提供しています。経営管理手法の導入、売上の向上、内部管理体制充実の支援などを通して事業基盤を強固なものとし、末期癌患者、障害者の方々が介護・医療ニーズの高い高齢者のための地域のインフラとしての責務を果たしています。



株式会社 Welfare すずらん



環境保護-ビーチクリーン

地域社会での清掃活動は、環境を守り、社会の一員であるうえで重要な要素です。週末の渋谷での清掃活動や、定期的な海岸清掃活動に参加するだけでも、少しは貢献できるものと思います。NSSKチームは、地域社会を支援するために、またNSSKの全員が海岸のゴミが環境に与える影響について学ぶために、年に一度のオフサイトの一環として、海岸での清掃活動に参加します。



株式会社日本産業推進機構

地域の顧客満足度向上のための新ビジネスの確立

日本中のショッピングモール等の内部にリサイクル遊具をベースとした室内遊園地 (Kid's US. LAND) を出店・運営するユーエスマートでは、地域のお客様の満足度をいっそう向上させるために、おもちゃ・ゲーム企業やイベント事業者との新規提携を促進し、お子様だけではなく高齢者・主婦の方々をターゲットとした新たなビジネスの確立に取り組んでいます。



ユーエスマート株式会社

地域密着型のプロスポーツチームを応援

社関は、地域の活性化を目的に栃木県内のプロスポーツチームを支援しています。現在、地域に密着して活動が続ける、宇都宮ブルックス (バスケットボール)、H.C. 栃木日光アイスバックス (アイスホッケー)、宇都宮ブリッツェン (自転車ロードレース) の各チームのオフィシャルスポンサーを務めています。



株式会社社関

清掃活動や献血を通じた地域貢献

全国にサンキューマートを展開し、キャラクター商品・雑貨・衣類などを全品390円均一で販売するエルソニックでは、地域貢献活動としてボランティアの従業員が近隣のゴミ清掃を実施しています。また日本赤十字社に協力し、本社で献血活動を行いました。今後もエルソニックでは、身近な地域貢献活動に積極的に取り組んでいきます。



エルソニック株式会社

従業員満足の実現

NSSK フィロソフィー・プログラムをもとに 従業員の教育と人材開発を支援しています。

NSSK フィロソフィー・プログラムの理念

NSSKでは、従業員の教育と人材開発を支援するアプローチとして「NSSK フィロソフィー・プログラム (NPP)」を制定しています。NPPの理念は「人間として正しい生き方をする」という人生哲学です。NSSKに関わる、すべての従業員がこの人生哲学に従うことを奨励しており、それが結果として従業員一人ひとりの幸福と、会社の繁栄につながると考えています。

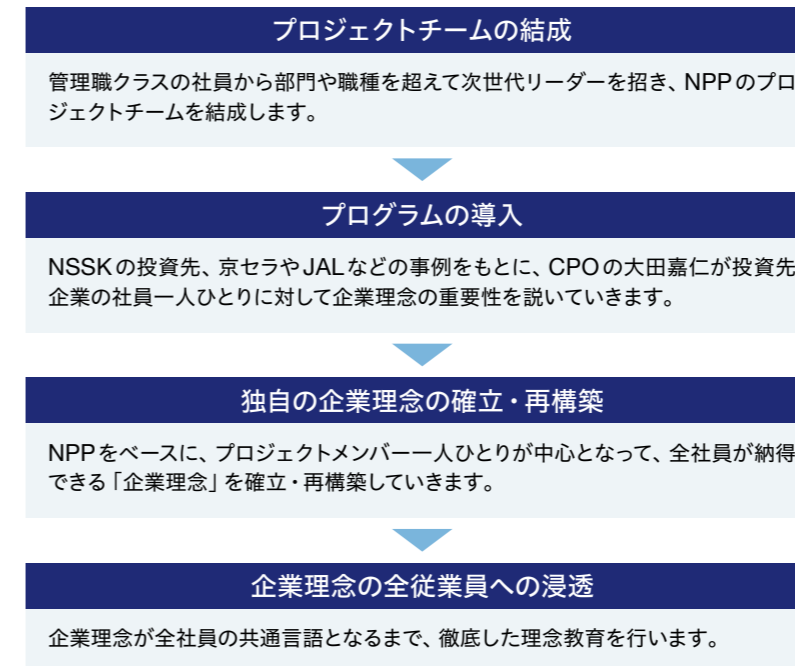
NSSK フィロソフィー・プログラムの内容

NPPは、京セラで稲盛和夫氏を30年以上にわたって支えてきたNSSKのチーフコーポレートフィロソフィーオフィサー (CPO) である大田嘉仁が中心となり、6つの要素をベースに開発されたものです。企業理念の重要性とその策定・浸透方法を説き、投資先企業の独自の「企業理念」の確立を支援します。



NSSK フィロソフィー・プログラムの目的

NSSKのアプローチ



大田嘉仁CPOによるNPP講義の様子 (ユーエスマート株式会社)



大田嘉仁CPOによるNPP講義の様子 (ホテルキャッスルイングループ)

チーフコーポレートフィロソフィーオフィサーより

全従業員が能力をフルに発揮できる 全員参加経営を目指す

企業とは究極的にはヒトの集まりでしかなく、最も大切な資産が従業員であることは論を待ちません。従業員にとっても、働くことは、生活の糧を得るためにも、自己実現のためにも、極めて重要なことは間違いありません。

そうであれば、多くの社員がやりがいを感じられる企業風土を作ることは、経営者だけでなく、従業員にとってもメリットがあるはずですが、しかし、そのような企業風土を作ることができないため、生産性をあげることも、業績を伸ばすこともできていない、つまり、従業員の能力をフルに活用できていない企業も数多く存在しているのではないのでしょうか。企業が社会的な存在である以上、それは社会的な損失ともいえます。

NPPは、経営幹部がどのような考え方で、また手法で、従業員に接すれば、熱意をもって仕事に取り組んでくれるようになるのかを、つまり、全員参加経営を実現させることができるかを、JAL再建などの具体的な事例をベースに体系的にお伝えするプログラムです。私は、経営者が真摯にNPPの実践に取り組めば、経営改善に大きく貢献できると確信しています。



特別顧問
チーフコーポレート
フィロソフィーオフィサー
大田 嘉仁

- 元京セラコミュニケーションシステム株式会社社長
- 日本航空株式会社に会長補佐、専務執行役員として会社再建に従事
- 長年にわたり秘書室長として稲盛和夫氏を支え、京セラ株式会社取締役執行役員常務を務める

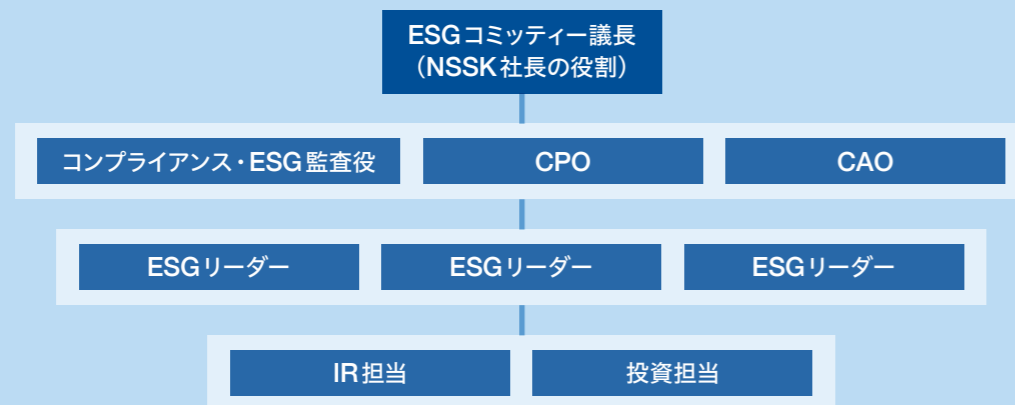
ESG多様性&インクルージョン委員会の設置

NSSKはESGを推進するための組織として「ESG多様性&インクルージョン委員会」を設けています。この委員会において、ESGに関する基本方針の策定や課題の継続的なレビュー、ESG関連情報の社内への共有と課題対応のモニタリング、投資先のESGチェックリストの継続的なアップデート、ESGの取り組みに対する定期的なステークホルダーへの報告などを実施しています。



ESG多様性&インクルージョン委員会の体制

「ESG多様性&インクルージョン委員会」は、NSSK代表の津坂純を委員長として、各部門（投資チーム、IRチーム、ビジネスサポートチーム）のメンバーに加え、チーフコーポレートフィロソフィーオフィサーおよびコンプライアンス・ESG監査役などの9名で構成されています。この委員会では、NSSKおよび投資先企業・投資先候補におけるESGの問題について議論がなされています。また、グローバル企業で豊富なCFO経験を持つ伊藤隆治がコンプライアンス・ESG監査役を務め、NSSKのESG関連の活動を監査しています。



具体的な活動内容

- 月1回のESG委員会にて、NSSKおよび投資先企業のESG戦略、ESG推進のための仕組みづくりについて討議
- ESG監査役による投資先企業の監査の実施
- 投資先の経営者および従業員に対するESG研修の実施
- 署名機関への開示書類の手配

NSSK ESG委員会メンバー



津坂 純
代表取締役社長
ESGコミッティー議長



伊藤 隆治
コンプライアンス・ESG監査役



大田 嘉仁
特別顧問
チーフコーポレート
フィロソフィーオフィサー(CPO)



秋山 翔平
ディレクター
チーフ・アドミニストレイティブ・
オフィサー



松田 清美
ファイナンスディレクター
ESGリーダー



佐藤 くらま
マネージャー
ESGリーダー



高良 将迅
シニアアナリスト
ESGリーダー



遠藤 経雄
地域インパクトファンド
専務
インパクトファンド担当



岩見 誠人
ディレクター
投資担当

コンプライアンス・ESG監査役より

日本産業推進機構 (NSSK) は、ESGが現在のように声高に叫ばれる前からESGの重要性について認識し社内での勉強会を続けて来ました。投資家からお預かりしている資金の運用についても、ESGは必ず投資の基準であり条件であります。こうした理解と認識は投資先の経営陣にも行き渡っており、それぞれSDGsを設けその実現に努力しております。コロナの環境下ではありますが、今年は5-6月に監査をスタートします。10月頃には今年2度目の監査を実施したいと考えております。



コンプライアンス・
ESG監査役
伊藤 隆治



多くの女性管理職が活躍し、 事業と組織に活力をもたらしています。

NSSKではダイバーシティ&インクルージョン推進やジェンダーギャップ解消のために、投資先企業における従業員の機会均等や、長期的なキャリア形成のための環境整備に注力しています。その実例として、ESGミッションに貢献し、優れた成果をあげたメンバーをご紹介します。

株式会社伊勢夫婦岩パラダイス
水族館 副館長 永田 牧子様



契約社員として入社し、 現在は施設運営に責任を負う管理職に。

契約社員として入社し、その後、社員に登用され管理職に昇格しました。以前は、業務を通じて自分のやりたいことを実現し、スキルアップしていくことにやりがいを感じていましたが、現在は管理職となり、自分が取り組んだことが形となって会社に貢献できた時や、若いスタッフが失敗を繰り返しながらも果敢に挑戦し、些細なことでも自発的に行動してくれた時に喜びを覚えています。入社してからこれまで、女性だからと区別をされるような采配を受けたことはなく、飼育している動物や、水族館に訪れるお客様の幸せに繋がることには進んで挑戦でき、成果が正当に評価される職場だと感じています。プライベートにおいても家族の状況を優先させていただき、突然の帰宅の際も現場スタッフがフォローしてくださるので大変助かっています。

私たちの業界で女性がキャリアアップするためには、長期的に働ける環境が整えられているかどうかが重要だと思います。もし長期的に働けない理由が性別にあるのだとしたら、それは結婚・出産が大きく影響しています。私の場合、家族や夫の両親のサポートがあり、働き続けることができました。また、会社も私が働きやすいよう対応してくださっていることも大きな一因です。もし会社をお願いのできるのであれば、今後は女性だけでなく、男性にも同じ対応をしていただけたらと思っています。私は現在、家庭内での子育ても家事も、夫とおおよそ半分ずつ担当しています。しかし、夫の職場では男性が子供中心に動くことへの理解はまだないように感じることがあります。当社においても、子育て中の男性社員がたくさんいらっしゃいます。女性だけでなく、男性も家事や子育てに積極的に参加できるような会社からのサポートがあれば、結果として女性ももっと社会に進出しやすくなり、長期的に働ける環境になるのではと考えています。

ダイバーシティ&インクルージョン

NSSKはダイバーシティ&インクルージョンへの取り組みに 力を入れており、すでに優れた成果を上げています。

NSSKは投資活動において、ESGのなかでもダイバーシティ（多様性）とインクルージョン（包摂）を重視しています。いま日本社会が抱える大きな問題のひとつがジェンダーギャップであり、これを埋めるために取り組むべきことはたくさんあります。NSSKはダイバーシティとインクルージョンの改善を使命として掲げており、投資先企業において女性の活躍推進を図り、数々の成果を上げています。

12%

求人数増加比率

40%

投資先企業のCEO/COOに占める
女性またはマイノリティの比率

78%

全従業員（5,300人）に占める女性比率

49%

管理職に占める女性比率

※2020年2月時点でのFund IIの投資先企業

ダイバーシティ&インクルージョン

エルソニック株式会社
商品企画部デザイン課 マネージャー 杉本 真里絵様

大きなやりがいをもって、 自社商品のデザインチームを率いる。

自社で企画開発しているオリジナル商品のデザインチームのマネージャーを務めています。弊社では企画から商品化までのスピードが早く、自ら主導して常に新しい提案ができることに楽しさを感じています。チームには若い社員が多く、社内のコミュニケーションも活発で日々刺激を受けられることや、お客様からの盛んな反応が仕事のやりがいに繋がっています。現在、働きやすい環境はどんどん整備されていますが、今後は男女格差、育休取得率・復帰率などの実績に注視し、その改善を働きかけることで弊社のダイバーシティ推進の力になればと考えています。

株式会社 EdulinX
Operations & Finance Division ディレクター 近藤 直実様

自らの職責を果たして部下の成長も促し、 企業の発展に貢献。

女性である、ないに関わらず、管理職を任された以上、その職責を果たすことが重要だと考えます。これまで同様、責任をもって業務に取り組み、部下の教育や成長を促し、会社の発展に貢献していく所存です。弊社は、休暇が取りやすくワークライフバランスを大切にしており、また自身の意見を発しやすい環境です。一方、昨今の状況によって社員同士が関わる機会が減り、コミュニケーションの行き違いが多くなっているように感じます。こうした状況でも共に協力し合える職場環境を整えることで、女性に限らず全社員が安心して働くことができると考えています。

株式会社キャッスルインホテル&リゾート
管理部 主任 大保 美帆様

グループ全体の総務・経理を担い、 クレドを浸透させるプロジェクトにおいても奮闘。

ホテルグループ本部にて経理・総務に携わっています。グループ全体を見る立場なので責任も大きいのですが、各ホテルとの連携を図る役割を担い、とてもやりがいを感じています。クレド（従業員全員が心がけるべき信条や行動指針）発足プロジェクトのメンバーにも任命され、グループ内にクレドを浸透させていくことにも力をふるっています。自分の意見を遠慮なく言える職場環境であり、娘の学校行事などに応じてフレキシブルに勤務ができることも大変ありがたく感じています。今後は社員一人ひとりがもっと能力を発揮でき、努力が大いに評価されるような体制がいつそう整うことを望んでいます。

会社概要

NSSKにおけるESGと価値創造の相関関係
会社概要

会社名	株式会社日本産業推進機構
英文社名	Nippon Sangyo Suishin Kiko Ltd.
設立	2014年9月3日
代表者	代表取締役社長 津坂 純
所在地	〒105-6217 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー17階
Webサイト	www.nsskjapan.com

